

令和2年（2020年）度 男子ジュニアナショナル（U-15）トライアウト 要項

男子ジュニア強化部

- 1 期 日 令和2年9月6日(日)
- 2 会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター体操競技場、アスリートヴィレッジ
- 3 参加資格 ※別紙1：ジュニアナショナル選手（U-15）の選考、トライアウト参加資格参照
体操男子ジュニアナショナル台帳（仮称）を提出した選手・所属コーチ
- 4 費 用 参加料（申請料¥3,000 当日¥7,000）※旅費・宿泊費（NTC内宿泊可）は自己負担
（ジュニアナショナル選手・コーチを除く）
- 5 実施方法 競技会方式で自由演技を実施する。（参加人数増のため2班編成）
- 6 使用器具 セノール器具を使用。跳馬と鉄棒はピットに設置した器具を使用する。
- 7 適用規則 FIGジュニアルールにトライアウト特別規則を設定する。特別規則に記載されている以外の規則、条項は2017年度版採点規則および最新の体操競技情報を適用する。

8 トライアウト特別規則

A 技数と器具の寸度

カテゴリー	技数や難度	器具の高さ
小学生	全国ブロック選抜U-12大会 2018年度版採点規則を採用 ※難度についてのみ変更 (D以上：0.4 組み合わせ加点あり)	【跳馬】小学生 120cm 【その他の器具】一般ルールと同じ
中学生	2017年度版中学校男子適用規則を採用	【跳馬】中1・中2：125cm 中3：135cm 【その他の器具】一般ルールと同じ

※上記の採点規則を採用します。ルールについては、各自ホームページ等で確認してください。

B 得点の算出方法

採点者	スコア	評価について
日本体操協会 審判部	ルール通り得点を算出する。ただし以下の内容は追加する。 ※D・Eスコアの算出→加点はEスコアに含まれるのではなく、別に算出する。 (着地0.1 美しさや熟練性0.3 難易度の高い構成など0.2)	
日本体操協会 男子強化部	演技構成 5点満点 (加点1.0を含む)	発展性のある構成など、優れた演技構成に対して評価する
	演技実施 5点満点 (加点1.0を含む)	基本技術の正確さ、技の捌き方、スピード・雄大性 柔軟性・美しさ、力強い実施等を評価する

【別紙 1】

ジュニアナショナル選手 (U-15) の選考

トライアウトによる選考 【12 名程度】 中学生 【各学年 2 名以上】 小学生 【2 名以上】	トライアウト参加資格【48 名】・・・各学年定員 12 名まで ※2020 年については全日本ジュニア 2 部競技・東西決勝大会が実施されないため、<u>以下の順に従って</u>トライアウト参加者を選抜することとする。 ①令和元年(2019 年)度ジュニアナショナル強化選手 ②令和元年(2019 年)度 U-12 大会【1 位－ 6 位】 ②令和 2 年(2020 年)度全中大会【1 位－ 1 0 位】 ③令和 2 年(2020 年)度全中大会【新中学 2 年上位 3 名】 ③令和 2 年(2020 年)度全中大会【新中学 1 年上位 1 名】 ③令和元年(2019 年)度 U-12 大会【現小学 5 年以下上位 6 名】 ※③は①②を除いた人数とする。 ④所属推薦選手【各所属から申請し、強化部で選抜】 ※各競技会などの得点を参考に総合的に判断する。 ④強化部推薦選手【若干名】 ※参加希望する選手が不慮の傷病等の場合により、競技会での得点算出がやむを得ず不可能になった場合 etc. 【③④の人数については、各学年定員 12 名の範囲内で選抜する。】 ※④の申請方法、選抜方法についての詳細は現在、検討中 申請時には併せて台帳の提出もしていただきます。 ※令和 2 年度全中大会は、開催時期が申請後となるため令和 2 年度中学生のトライアウト希望者は、申請時に参加資格を取得していない選手は④の所属推薦選手として申請すること。 (全中大会終了後に中学生の参加者は決定します。)
--	---

<補足>

I 【上位〇〇名】は、上位選手より順次繰り上げを行う。

II 各選考区分で同点者が出た場合は FIG タイブ레이크を適用する。

III ジュニアナショナル選手を対象に海外強化事業を実施する。

国内強化事業では、U-12 指定育成選手、トライアウト出場選手、全国大会の個人・種目別上位選手、前年度ジュニアナショナル選手を招聘する可能性あり。

IV 競技会名の省略

全国中学校体操競技選手権大会＝「全中大会」

全国ブロック選抜 U-12 選手権大会＝「U-12」